



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2013～2014年度 RI会長 ロン D. パートン

RIテーマ Engage Rotary Change Lives ローターリーを実践しみんなに豊かな人生を

クラブテーマ「初心にもどり自分とクラブを見つめ直そう」会長 山本良一

副会長 矢岸貞夫 幹事 加藤正幸

第1154回 例会 2013.9.27(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:小島 真君
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山本良一君



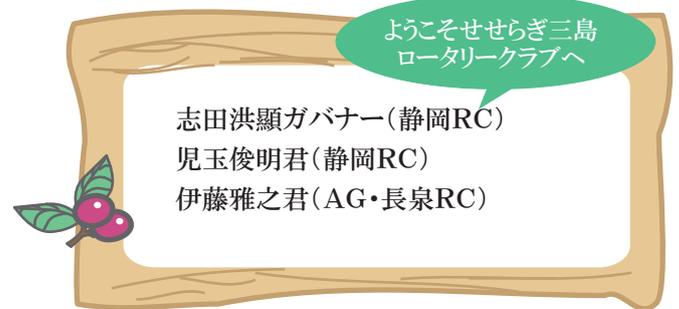
本日はガバナー公式訪問です、ガバナー公式訪問の目的は 1、重要なロータリーの問題に主眼を置き感心をもたせる。2、弱体あるいは問題のあるクラブに特別な関心を払う。3、ロータリアンに意欲を起こさせ奉仕活動に参加させる。

4、地区内におけるロータリアン個人の卓越した業績を報告する。となっております。

例会場でありますブケ東海には午前10時半に静岡ロータリークラブの児玉俊明幹事が到着、続いて志田ガバナーの到着です。伊藤アシスタントガバナーは早くからの到着で事前打ち合わせを細かく行っていただきました。予定どおり挨拶から始まり、続いてクラブの委員会活動報告のスタートです。国際奉仕委員会の「タイ遠距離通学の子供に放置自転車の贈呈事業」は2003年より始まり今年で11年目となり、すでに約4500台の放置自転車が子供たちの通学の足となっている報告を矢岸次年度会長から、続いて小林次年度幹事より青少年育成セミナーの今までの経緯また全国の職場体験学習の先駆けとしての文部科学大臣からの表彰、現在、全国でこの中学生による職場体験学習が行われていること。引き続き「3年後の自分への手紙」の報告を行い、東日本大震災の岩手県大槌町子供への図書支援も今年で3年目を迎える。ハンドベル演奏のミセスアモレは10周年時に結成されましたがハンドベルが来年の25周年記念を最後の演奏として解散を決定していること。

これらの事業報告のあと志田ガバナーからは、一貫して青少年また新世代に対する大変な事業であり子供には良い体験である、3年ごとの事業の見直しは非常に評価できるとの公表をいただいた。個人的には、志田ガバナーとは17年前、静岡県PTA連絡協議会の同じメンバーとして青少年育成活動を行い、海外視察研修として北欧への視察旅行に参加、2013-2014志田ガバナー年度にせせらぎ三島ロータリークラブ会長として、ガバナー公式訪問を受け多くの会話ができたことは偶然とはいえ何かの繋がりが「縁」があ

つてのこと、このような体験がロータリーモメントであろうかと言える有意義な時間を持つことができました。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/34	91.18%	34/34	100%
今回	29/34	85.29%	会員総数	34名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

大房君、小島君、田中君、中山君、服部君



スマイルボックス

仲原実圭君:先日は盛大な歓迎会を開いていただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

澤田 稔君:志田ガバナーの講話を楽しみに、出席免除ですが出席しました。

岡 良森君:先週のゴルフ、何年ぶりかの大たたき!背筋は痛めるし、指はけがするし、散々でした。そんな私をいじめた方々、忘れないでいて下さい。やられたらやり返す、倍返しだ!なんてね!

杉山 隆君:先週は仲原君の歓迎会に多数出席していただきありがとうございました。親睦委員としてお礼申し上げます。

Cテーブル:Cテーブル会残金スマイルします。中村先生にも参加していただき、また仲原さんも出ていただき大変楽しい時間でした。ありがとうございました。

ガバナー挨拶

RI第2620地区ガバナー 志田洪顕君



先ほど会長・幹事会でいろいろお話しをさせていただきましたが、そこで、一言でこのクラブの特徴はというと、「三年計画」です。三年でプランを作って、三年で見直しをする。こういうクラブがあったんだなあーと正直いってびっくりしました。

ロータリーの原則は、一年です。しかし一年では事業がやりにくいので、是非三年で事業をやってください。と、お願いしているところですが、すでに実際に三年で事業を興しているクラブははじめてです。これに私は非常にびっくりしました。内容的にも、青少年に関する仕事、それから国際奉仕、国際交流に関する仕事を非常に自信をもって取り組んでおられる。又、東日本大震災に関しても、素早く対応され、いまだに継続しておられるということ。私にとりましていろいろ教わる事が多く、心から感謝申し上げます。

今、40数回のクラブ訪問をしておりますが、その度に新しい発見をいたします。それまではロータリーというのは私が所属する静岡ロータリークラブのことしか知りませんでしたから、各クラブを回る度に新しい発見をするという幸せな立場に立っているなと思います。それと同時に私の仕事は、そういう情報を皆様のところへお伝えする事と思っております。ガバナーは全クラブを廻ります。アメリカの国際協議会、国際大会にも出席します。規定審議会の情報などもダメになった案まで私の所に集まります。こういう情報を皆様にお伝えするのがガバナーの一番大きな役割だと思っております。

ロータリーというのはあくまでひとつひとつの「クラブ」が基本になっております。国でもないし、行政にも全く依存してない組織がロータリーです。それが、ロータリーが長続きしている一因なのかなと思います。それをサポートするのが地区の役割だとはっきり規定されております。それから、ガバナーの役割はクラブの活性化のお手伝いをする事です。

ロータリーを内部からではなく外部から見たらどうか？という事でアメリカの大きい格付け会社に依頼して調査していただきました。その中間報告が一月にできました。その内容は「こんな多様な人の集まりがあるか。」職業・年齢・宗教・肌の色・心情の多様性。こんな多様な人々が120万人も集まっている会は世の中に存在しません。これがロータリーの一番の魅力です。

つぎにもっと素晴らしいのは、その120万人が全て地域のリーダーだということです。こんなすごい組織は世界にありません。

「未来の夢計画」がこの7月からスタートしました。これによりまして「GSE」と「財団奨学生」がなくなりました。それはこの制度が時代の移り変わりで他の制度とチェンジをしましょうということです。ひとつは「日本財団」というものをつくり、皆さんがR財団へ寄付されるとすぐ証明書が発行されます。それで皆さんが所得控除をうけられます。税金を減らして寄付金に変えるということです。その上にその75%がクラブに戻ってきて、クラブがまた事業ができます。皆さんが財団に寄付をして頂くと素晴らしい成果をあげることができます。皆さんの節税にもなりますので、是非活用していただきたい。

おめでとう

会員誕生日	9月27日	米山晴敏君
	10月1日	土屋 巧君
入会記念日	9月28日	兵藤弘昭君

志田ガバナーへの質問

クラブ研修リーダー 中村徹君

このたびはチャーターメンバー澤田君のRIへの職業奉仕リーダーシップ賞推薦を受理していただき、ありがとうございます。

ガバナーには以下各項目について質問をさせていただきます。

- 1、当クラブの独自の委員会構成表について
- 2、名誉会員について
- 3、出席免除会員について
- 4、天寿会員について
- 5、RIでは奉仕プロジェクトを立案・実施する方法を紹介する、ウェビナーを5回にわたって開催するそうです。定員は500名。インターネットを利用した研修システムで、登録者を募っています。ガバナーは地区でも募集を募る予定ですか。
- 6、地区主導の地区補助金について、
- 7、クラブ研修リーダーについて

先週は山本会長のご配慮によりガバナーへの質問の席を設けていただき、ありがとうございました。

私にとって一生に一度の、ロータリーモメントとなりました。たくさんのお話をいただきましたので、会員の皆さんにも機会を得て情報交換したいと思います。

